



県ホームページ(<https://www.pref.yamagata.jp/325001/kensei/joho/koho/news.html>)でも公開中!

令和3年4月8日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.175

クイズで 知ろう!

この頃はだんだんと気温が高くなってきており、満開の桜を心待ちにしている方も多いのではないのでしょうか。ここ置賜地域には、四季折々の風景を楽しむことができる名所がたくさんありますよね。さて、そうした実り豊かな大地を持つこの置賜地域を、明治時代のとある英国人女性旅行家は"東洋のアルカディア(理想郷)"と称しました。その女性とは誰でしょう?(〇〇〇〇・バード)

特集

あびこ よしひろ 新年度のあいさつ / 置賜総合支庁長 安孫子 義浩



置賜総合支庁長就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

置賜地域は、歴史、文化、産業、農業、自然、そして人情の豊かさなど、豊富な資源と人材に恵まれた素晴らしい地域です。私は、置賜地域での勤務は二度目ですが、置賜で仕事ができることを誇りに、この地域の発展、創生のために職員と一緒に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、引き続き感染拡大への警戒が必要であります。基本的な感染防止対策を徹底していくとともに、ワクチン接種についても、県民の皆様がスムーズに接種を受けることができるよう、県と市町がしっかりと連携し、準備に万全を期していきます。また、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が長期化・深刻化しており、中小企業・小規模事業者の事業継続と雇用維持に取り組んでいきます。

災害関連では、置賜地域でも地震、台風、大雨、大雪に見舞われ、負傷された方々や家屋等の被害に遭われた方々がおられます。近年大規模化・激甚化している災害への対策を進めるとともに、地域防災力の一層の向上を図る必要があると考えております。

今年は東京オリンピック・パラリンピックや東北デスティネーションキャンペーンなどの開催が予定されておりますが、コロナにより大変厳しい状況にあります。一方でデジタル技術の飛躍的な発展や、世界的なSDGsの取り組みなど、時代は大きな転換点を迎えています。このことをチャンスと捉え、コロナ後を見据えそれぞれの分野で事業の展開を進めていく必要があります。

置賜総合支庁では、組織内の横の連携はもちろんのこと、管内市町、関係団体及び地域の皆様と連携を密にし、力をあわせて『為せば成る』の精神でこれらの課題に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

【トピックス】 農林水産業で活躍する置賜の若者3名を表彰!

2月19日(金)、置賜総合支庁において「令和2年度置賜地域農林水産業若者賞」の表彰式を開催しました。この賞は、農林水産業の振興発展や人材育成に役立てることを目的に、地域で活躍する若者の優れた功績や取り組みを表彰する総合支庁長表彰です。置賜の農林水産業の未来を担う受賞者の方々の、さらなる活躍を期待しています。



<受賞者(3名)>

○長谷部翔太さん【南陽市、農業(さくらんぼ・水稻等)】

県さくらんぼ品評会で3度最優秀賞を受賞するなど各種品評会で高い評価を得ており、南陽産さくらんぼの知名度向上に貢献。

○船山隼人さん【白鷹町、農業(水稻・えだまめ等)】

水稻の特別栽培や県版GAPを取得するなど、安全性や環境に配慮した農業経営を推進。また、つや姫マイスターとして、つや姫の高品質生産を牽引。

○佐藤孝太さん【飯豊町、林業(森林組合職員)】

西置賜ふるさと森林組合森林整備促進課係長として森林整備を促進。また、第1期山形県青年林業士に認定され、県青年林業士会では普及委員長を務めるなどリーダーとして活躍。

【写真:左から長谷部さん、船山さん、佐藤さん】

■地域産業経済課 総務係
電話0238-26-6041

置賜地域の若者が地域の魅力を発見・発信！

置賜地域の若者と行政若手職員がメンバーとなり、若者の視点で地域を見つめ直し、魅力を発信している「おきたま元気創造ラボ(おきラボ)」では、令和2年度、次の3事業を実施しました。



「置賜の食材」を使ったぬか漬け試食会の様子

- SNS等で置賜の魅力・元気を発見・発信
メンバーが4つのテーマに分かれ(アウトドアスポット、置賜の方言、置賜の食材、置賜の冬のお出かけスポット)、おすすめの置賜の魅力をSNS等で発信
- OKITAMAベストロケーションマップの制作
R1年度に実施したフォトコンテストの受賞作品を活用し、撮影スポット情報、アクセス情報等を掲載したマップを制作
- 若者団体のデータベース化
置賜地域内で活動している若者団体の活動状況等を取りまとめ、HPで公開

メンバーによる発信内容など、取組みの内容は「おきラボ」SNSやホームページをご覧ください！

Facebook



Instagram



ホームページ



■ 総務課連携支援室

電話0238-26-6021

東日本大震災復興祈念事業(米沢会場)を開催



平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらしました。大震災から10年が経過したものの、復興は道半ばの状況であり、現在も多くの方々が置賜地域に避難しています。

大震災の犠牲者を追悼するとともに、今後の復興・再生を通じた東北全体の発展を誓うため、3月11日(木)に伝国の杜置賜文化ホールで東日本大震災復興祈念事業「追悼式・復興のつどい」が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策として一般来場者がいない無観客での開催とする一方、会場にお越しいただけない方のために、ユーチューブ、置賜地域のケーブルテレビ

びやコミュニティFM放送で同時ライブ配信を行いました。

当日は、避難者代表のあいさつや避難者の現状報告を行っていただいたほか、これまでの祈念事業に出演していただいた藤原紀香さんや加藤登紀子さん等7名からのビデオメッセージを放映するとともに、朝倉さやさんがリモート出演によるコンサートを行いました。ユーチューブ等の同時配信により、追悼と復興への思いを全国の皆様と共有することができた1日でした。

■ 総務課防災安全室 電話0238-26-6007

国道287号米沢長井道路の整備状況について

国道287号米沢長井道路は、米沢市窪田町と長井市泉を結び、新潟山形南部連絡道路梨郷道路と一体となって広域ネットワークを形成する延長19.4kmの主要幹線道路で、現在米沢市窪田町～川西町西大塚までの延長12.3km区間でバイパス事業を進めています。



川西町小松地内の軟弱地盤対策工事箇所



米沢市窪田町～六郷町の橋梁工事箇所

令和3年度は、川西町小松～西大塚の区間で軟弱地盤対策工事が終わった区間の舗装工事や、犬川と元宿川の橋梁工事等を予定しています。また、米沢市窪田町と六郷町の間を流れる鬼面川では、橋長約280mの橋梁上部工工事等を予定しています。令和3年度も地域のみなさまからのご協力をいただきながら、一日も早い供用開始に向けて事業を推進してまいります。

■道路計画課 道路・高規格整備担当 0238-26-6078

保健だより

新型コロナウイルス感染症について

2021年2月3日、感染症法が改正され、これまで時限的な措置だった新型コロナウイルス感染症への対応が、罰則導入と都道府県知事等の権限強化等も盛り込まれ、恒久的に適用されるようになりました。

感染のリスクが常に身の回りにあるという意識を持っていただき、「新しい生活様式」の徹底を引き続きお願いします。

※飲食は、「普段一緒にいる人と」、「少人数・短時間で」「飲酒を伴うカラオケは控える」「重症化リスクの高い高齢者の方等は、飲酒を伴う会食は控える」「県外の方との飲食は控える」等の対応をお願いします。

新しい生活様式の例

- ・こまめな手洗いや正しいマスクの着用
- ・消毒、適切な換気
- ・身体的距離の確保、3つの密を避ける 等



■保健企画課 感染症対策担当
電話0238-22-3002

保健所で行っている各種相談一覧

置賜保健所では次のとおり相談等を実施しています。お気軽にご利用ください。

内容	日時	お問い合わせ先
子どもの健康や育児についての相談	随時	子ども家庭支援課 保健支援担当 0238-22-3205
女性の健康相談 (妊娠・出産・不妊など)	毎週火曜日 午後1:00～ (事前に予約しておいでください。)	
医療費助成申請 (指定難病・特定不妊治療など)	随時	
こころの健康相談	随時 精神科医による相談を、米沢で毎月、長井で奇数月予定しています。 (事前に予約しておいでください。)	地域保健福祉課 精神保健福祉担当 0238-22-3015
エイズ・梅毒・クラミジア B型C型肝炎ウイルス相談 血液検査	検査・相談:毎週火曜日 午前9:30～10:30 事前予約制(無料、匿名)	保健企画課 感染症対策担当 0238-22-3002

5月31日から6月6日は「禁煙週間」です



5月31日はWHO(世界保健機関)が定めた『世界禁煙デー』です。また、厚生労働省では、5月31日から6月6日を「禁煙週間」と定めています。喫煙は、肺がんや心臓病、脳卒中、歯周病等のリスクを高め、肌のシワ、シミ等美容にも影響します。周囲のたばこの煙を吸わされる「受動喫煙」でも、肺がんや心臓病、流産・早産のリスクが高まります。

また、喫煙は新型コロナウイルス感染症重症化の最大のリスクと言われ、WHOも新型コロナウイルス感染症対策として「禁煙すること」を強く推奨しています。あなた自身と家族、友人等を守るため、是非この機会に禁煙について考えてみませんか。

■保健企画課 健康長寿推進担当 電話0238-22-3004

4月2日は世界自閉症啓発デーです

毎年4月2日は、平成19年に国連が定めた世界自閉症啓発デーです。厚生労働省では、この日から8日までを「発達障害啓発週間」と位置づけ、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に取り組む活動を行っています。

自閉症の方は、脳の発達の仕方の違いから、「他の人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切につかうこと」「新しいことを学習すること」等が苦手です。周囲の人々がこれらの特性を理解し、「よい点」を見つけるようにすると、社会の中で生き生きと暮らすことができます。

自閉症をはじめとする発達障害について理解を深めることは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながります。皆さんもこの機会に考えてみませんか？

家庭でできる工夫の例

- ・短い言葉で具体的に伝える
(例:そこに片付けてね ⇒ 青い箱に入れてね)
- ・言葉だけでなく写真や絵等で示しながら伝える など…

うまくいく方法を探してみましょう。



■子ども家庭支援課 保健支援担当 電話0238-22-3205

クイズで知ろう!の答え

A. イザベラ・バード

イザベラ・バードは、当時「辺境」と呼ばれていたアジア、アフリカ、オセアニア等の国々を旅し、多くの旅行記を出版した旅行作家です。1878(明治11)年に北日本を旅行し、なかでも置賜地方を「東洋のアルカディア(理想郷)」と大いに讃えています。その記録は旅行記「日本奥地紀行」として出版され、当時1か月で3版を重ねるベストセラーとなりました。訪れる人々を長きにわたり魅了してきた置賜の美しい風景を、いつまでも残していきたいですね。



川西町にあるイザベラバード記念碑